

平成 18 年 9 月 4 日

定期検査中の 1 号機原子炉建屋における水漏れの調査結果について

東京電力株式会社  
福島第二原子力発電所

当所 1 号機は定期検査中ですが、平成 18 年 7 月 16 日午前 6 時 56 分頃、原子炉建屋 4 階の制御棒駆動機構補修室内に設置されている制御棒駆動機構分解水槽\*から水が溢れ、床に漏れていることを当社運転員が確認しました。

水漏れは当該水槽の元弁を閉めたことにより止まりました。

漏れ量は約 50 リットル、放射エネルギーは約  $7.9 \times 10^2$  ベクレルでした。漏れた水は、拭き取りにより回収し、清掃を実施しました。

なお、制御棒駆動機構補修室内での点検作業が終了したことから、当該水槽の元弁を作業前の状態に戻すため、7 月 15 日に開けておりました。

水漏れの原因は、元弁と当該水槽の間にある水槽の入り口弁（通常は閉）にシートリークがあったため当該水槽に水が流れ込み、溢れ出たものと推定しております。これによる外部への放射能の影響はありません。

(7 月 18 日お知らせ済み)

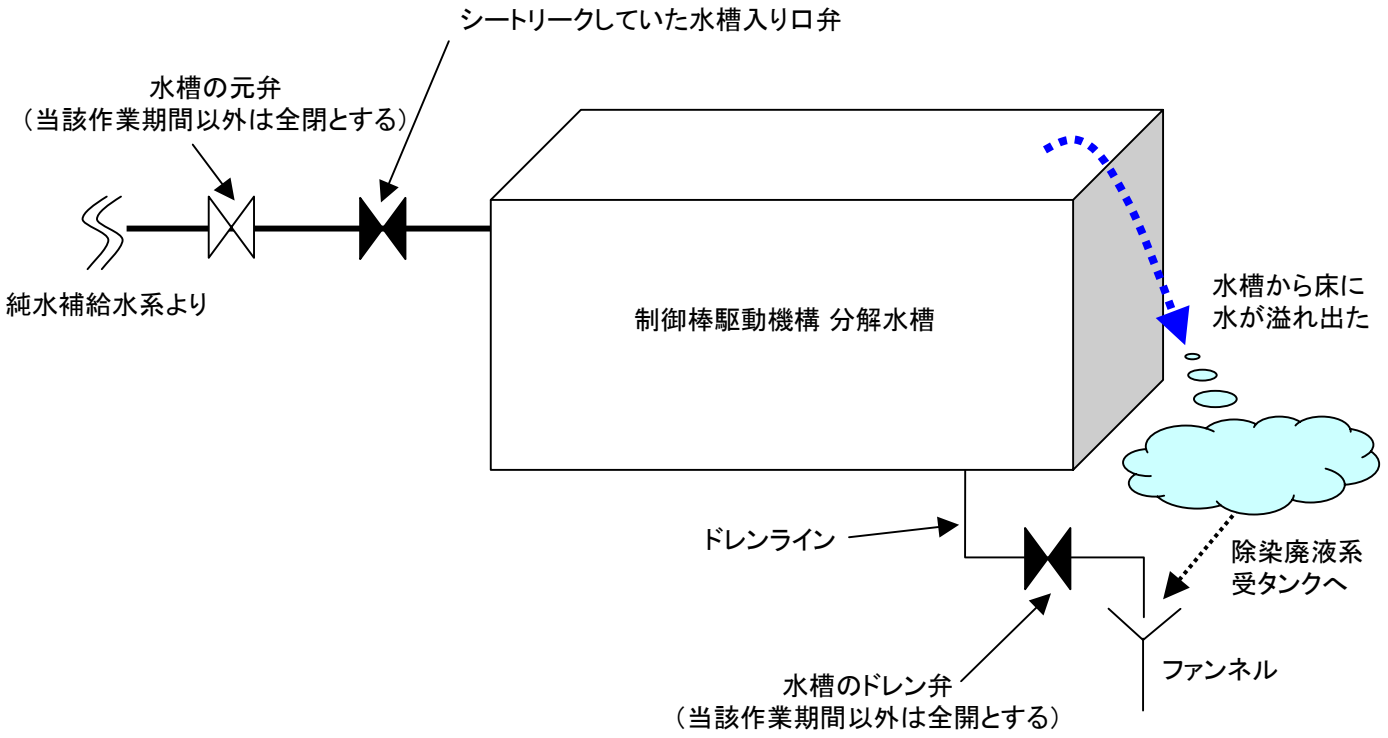
調査の結果、当該弁のシートリークの原因は、当該弁の開閉時に、水に混じていた微細な異物が弁内部で噛みこみ、弁体に細かな傷がついたことにより水の通り道ができたためと推定しました。

対策として、当該弁の手入れを行うとともに、念のため弁体を新品に交換しました。なお、今後、当該作業期間以外については、当該水槽の元弁を全閉に、当該水槽のドレン弁を全開にて運用することとし、他号機についても同様に運用することといたします。

以 上

\*：制御棒駆動機構分解水槽

制御棒駆動機構を分解し洗浄するための水槽。



**制御棒駆動機構 分解水槽系統図**